

整備内容及び利用状況

千世の堤護岸復元工 L=160m



施工前



施工後

地元の“白河石”を使い復元しました。

市民との動植物観察会



市民との植物観察会



市民とのトンボ観察会

水質調査



水質調査に参加した市民グループ

南湖勉強会



南湖の水質に関する勉強会

関係機関

- 福島県 県南建設事務所 企画調査課
- 南湖ワークショップ(事務局 県南建設事務所 企画調査課)
- 白河市 都市計画課
- 社川沿岸土地改良区(水管理)
- 南湖共栄会
- みなもん自然環境塾
- NPO法人 カルチャーネットワーク

TEL : 0248-23-1617

TEL : 0248-22-1111(代表)

TEL : 0248-32-3324

TEL : 0248-23-3015

TEL : 0248-22-6853

TEL : 0248-22-5271

日本初士民共楽の南湖公園を良好な状態で
後世へ継承 ~古から現代へ、そして未来へ~

県南-1

南湖公園周辺地区

白河市

県南建設事務所
計画期間:H16~22

地域づくりの方針

士民の差別なく共に楽しむ士民共楽の日本最初の公園である南湖公園を民・学・官が協働により良好な状態で保全し後世に継承する。

主な事業内容

- ・民・学・官協働により、**水質浄化活動**
- ・風化により劣化した千世の堤護岸を**整備した当時の状態に復元**



事業概要図



地域の現状

南湖公園は、約200年前に白河藩主松平定信公が、「土民共楽」の理念の基に築造した日本最初の公園とされています。しかし、近年の急速な都市化の進行により南湖を取り巻く環境の悪化が表面化し、その改善が強く望まれています。

H14年度に市民と行政などが一体となって南湖公園及びその周辺地域を含めた保全・利活用計画（案）策定を目的とした「南湖公園ワークショップ」を立ち上げ、水質・景観・動植物・交通・観光イベント及び市民活動といった多岐にわたる課題に取り組んでいます。

地域づくりのあゆみ

平成16年	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップで、社会実験、水質調査を実施。 民、学、官協働による南湖の総合的な水質調査を開始。 南湖の池干し清掃ボランティアの実施。（年1回実施） 平成16年度南湖図画コンテストを開催。
平成17年	<ul style="list-style-type: none"> 炭素繊維ネットを設置して浄化実験を開始。（市民ボランティア） 『歩いて楽しむ南湖公園散策マップ』を作成。
平成18年	<ul style="list-style-type: none"> 南湖に関する大学との共同研究（日大・福大）を開始。 一般市民を対象とした南湖の植物観察会の開催。（福大の協力） 南湖の保全・利活用に関する「市民提案書」を白河市長に提出。
平成19年	<ul style="list-style-type: none"> 一般市民を対象とした南湖のいきもの（トンボ、魚類）の観察会の開催。（専門家の協力） 南湖への理解を深めるための検討会（勉強会）の開催。
平成20年	<ul style="list-style-type: none"> 市民の手作りによる『南湖祭』（第2回）の開催。 南湖への理解を深めるための検討会（勉強会）の開催。
平成21年	<ul style="list-style-type: none"> 千世の堤護岸整備（修繕による復元）
平成22年	<ul style="list-style-type: none"> 道路案内板及び総合案内板等の改善

地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

平成14年に38年ぶりに南湖の水を抜き、池干しを実施しました。始まるといういろいろな問題に直面しました。わずか50人足らずの清掃活動で湖内から10tものゴミが収集されたり、市民からは貴重な水生植物のコウホネが寒さに弱いと責められたり、心無い釣り人に夜中に堰を開かれ大量の魚が流出し、土嚢袋100袋分の魚を回収し焼却するなど、難題や批判の声が噴出してその対応に追われる毎日でしたが、その都度丁寧に説明し理解をしていただくことにより、現在はほとんど批判等の声はなくなり、毎年1回市民のみならず協力のもと池干し清掃が実施できるようになりました。

実施した感想

（地元住民：小椋栄一さん）

■各種市民団体などの力を合わせれば、大きなイベントもできるということがわかりました。

■南湖公園を生かすも殺すも私たち市民の意識と行動にかかっています。自然から学び、感動的な体験をした人は自然を大切にしようになるといわれています。このことを意識し一人ひとりが、何ができるかを考えて行動していくことが大事だと思います。

（その他の地元住民）

■ワークショップに初めて参加しましたが、十人十色の考え方や意見があって、大変なためになりました。ただし、自分の考えを押しつけ、他の人の意見を聞かない人には、もっと注意すべきだと思います。

（市担当者）

■住民主体の地域づくりを実現させるためには、住民一人ひとりが地域づくりの主役であることを認識し、地域の諸問題を考え、行動のできる体制づくりが必要です。そのためには、住民の活動を後押しする仕組みが必要であり、軌道にのるまでは地域の取り組みをサポートする行政側の支援が不可欠です。



小椋栄一さん

事業の効果

白河市長へ提案書提出



■提案書を白河市長へ提出

南湖公園ワークショップで話し合われたことを「南湖公園の保全・利活用に関する提案書」として市民の目線からとりまとめ、平成19年2月23日に白河市長へ提出しました。

市民の手作りによる『南湖祭』



■手作りイベント『南湖祭』

地元商店の方々や市民グループなどが協力して手作りの『南湖祭』を開催。2回目の『南湖祭』を平成20年11月に開催しました。

地域の課題・今後の展望

市民グループ主体で開催した「南湖祭」は予算ゼロにもかかわらず1,000人以上の来訪者があり、南湖清掃ボランティアには地元住民だけでなく県外や企業ボランティアの参加で400人を超える人々が集まりました。こうした活動は、地域資源価値の再認識と情報発信・PRに大いにつながりました。

古の姿に復活するまでには相当な年月がかかると思いますが、今後も住民自らが活動の成果を実感していくことを大切に、マップやパンフレットの作成、「産・官・学・民」の連携を図ることで、多くの人々が参加、議論し、交流・連携の地域づくりを目指して、普及啓発等の地道な地域づくりを行っていきます。

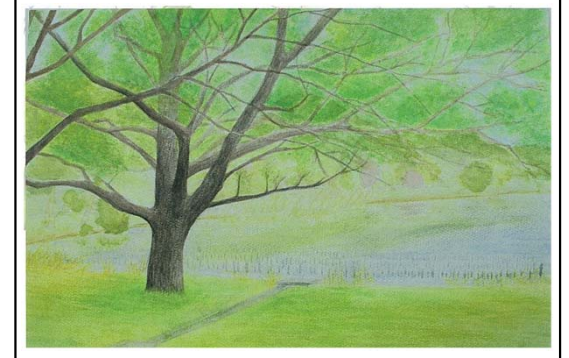
南湖池干し清掃ボランティア



■池干し清掃

400人以上の市民ボランティアにより毎年1回行われています。

出展作品



■南湖図画コンテスト

子供のころから南湖に関心を持っていただくために平成16年度から開催しています。

歴史的風致



■白河市歴史的風致維持向上計画認定(H23.1月)

この計画に『南湖公園の行楽』が歴史的風致に位置づけられています。